

**取扱説明書**

※安全にご使用いただくために下記事項を必ずお読み下さい。また、必要の都度お読み返し頂き、大切に保管して下さい。

**△ ご使用前に**

- ・ご使用前に本製品のステップ部とフレーム部に亀裂や変形がない事をご確認下さい。
- ・本製品のシリンダー部とシリンダーキャップ部及び各ネジ部に緩み無く、確実に固定されている事をご確認下さい。
- ・シリンダーキャップやネジを外したり、分解や改造をしないで下さい。
- ・本製品に強い衝撃を与えないで下さい。故障や破損の原因となりますのでご注意ください。
- ・本製品は、空気充填用です。表示外の目的には使用しないで下さい。
- ・ご使用中やご使用後、本製品を雨ざらしにしたり直射日光があたる場所に放置しないで下さい。
- ・英式バルブをご使用の場合、構造上、圧力ゲージの表示圧とタイヤなどの内圧との間に差が生じます。
- ・本製品に破損・変形・緩みなどの異常が見られる場合は、製品の使用を中止し販売店もしくは記載の製造者へご連絡下さい。

**◆ 置き針(圧力ゲージ)の使用法**

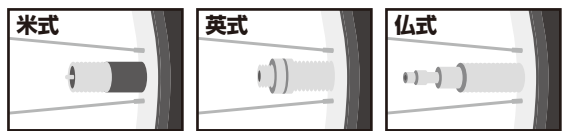
- タイヤの側面に表示されている推奨空気圧、または最大空気圧を確認後、置き針を設定して下さい。置き針は指で動かさず。

**■ 各部名称**



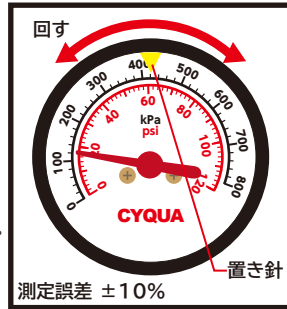
▲ 空気がもれていないことを確認して下さい。

**■ 対応チューブバルブ**



**■ 付属アダプター**

- ゴムボール用 (Rubber ball use)
- レジャー用 (Leisure use)

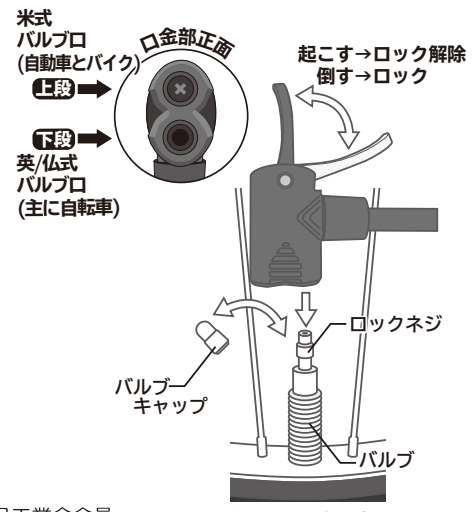
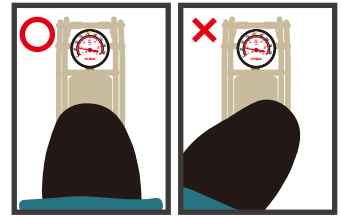
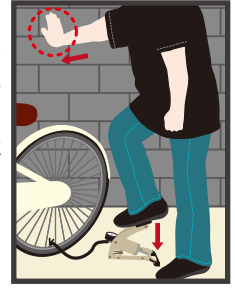


**■ 使用方法**

- ▲ 口金には米式用と英/仏式用の二種類のバルブ口があります。お間違えのないよう確認のうえご使用下さい。
  - ①タイヤ側チューブバルブのキャップを外す。
  - ②口金のロックレバーを起こす(ロック解除)。
  - ③口金をタイヤ側チューブバルブに差し込む。
- ▲ 仏式バルブの場合、ロックネジを緩めて頭を押して空気が出ることを確認してからバルブ口に奥までしっかりと真っ直ぐに差し込んで下さい。
- ④口金のロックレバーを倒す(ロック)。操作には力が必要です。口金部分をしっかりと握って下さい。バルブ側に必要以上の力が加わると破損する恐れがあります。
- ▲ メーターが動く事をご確認して下さい。※英式バルブの場合、構造上、この段階ではメーターは動きません。
- ⑤本製品のステップ部を踏んで空気を注入して下さい。
- ⑥ロックレバーを起こし口金を外して下さい。ロックレバーを起こさずに口金を外すと、内部のパッキンが磨耗して痛み、不具合の原因となります。
- ⑦バルブキャップを締めて下さい。仏式バルブの場合はロックネジを閉めてからバルブキャップを締めて下さい。

**▲ ご使用上の注意**

- ・周囲の安全を確認し運動靴など安全な装備で作業して下さい。裸足・サンダルなどでの作業はケガをする危険があります。
- ・ステップ部を押えた状態でフレームの止め金具を外してから、押えたステップをゆっくり離して下さい。突然離すと本体が跳ね上がり、ケガや破損の原因となります。
- ・本製品は、必ず平らな場所でご使用下さい。
- ・ご使用の際は、壁や塀、手すりなどしっかりとしたものに掴まり、安定性のある状態で作業して下さい。
- ・充填の際は、ステップをまっすぐに最後までしっかり踏み込んで下さい。ななめに踏み込みますとケガや破損の原因となります。
- ・充填作業の終了後は、確実に空気を送り込んだ状態でゆっくりと足を離して下さい。
- ・空気が漏れていないこと、適正な空気圧であることを必ずご確認下さい。
- ・本製品の使用中に操作力が大きくなってもタイヤに空気が入らない場合、ポンプ内が高圧になり破裂などの危険がありますので作業を中止して下さい。タイヤバルブに使用している虫ゴムの劣化の可能性もあるので、自転車店などにご相談下さい。
- ・動作が重く感じたり音が気になる場合は、シリンダーキャップ中心の軸と2ヶ所の穴から機械油を注油して下さい。
- ・圧力ゲージはポンプ内の圧力の目安です。故障時にはタイヤに過大な空気圧が充填される可能性もあるので、充填後は、タイヤを押して確認して下さい。
- ・本製品は 800kPa を超える高圧が必要な自転車には使用しないで下さい。
- ・ケースごと持ち運ぶ際は確実にロックされていることを確認してからケースを持ち上げて下さい。キチンとロックされていないと、フタが開き中身が落下するなどして大変危険です。
- ・仏式バルブの露出が約 20mm 以下のホイールには使用できない場合があります。



JAAMA 全国自動車用品工業会会員  
**ニューレイトン株式会社** <http://www.newrayton.co.jp/>  
 〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町4-14-11 電話 03(3676)2991(代) FAX 03(3676)2996

**スッキリ収納するために**

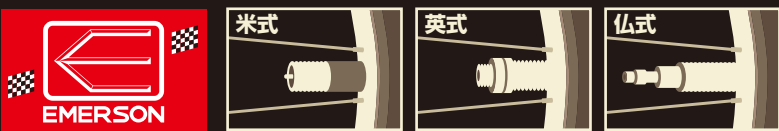
**1** つの字  
この角度からだ「つ」の字に、ペダルが手前なら「U」の字にホースを柔らかく曲げます。

**2** ペダルの下に差し込む  
曲げた部分をペダルの下に差し込みます。

**3**  
先端部分のレバーを写真のようにメーターの下に斜めに収めて下さい。収納時、レバーは起こした状態で保管して下さい。

**4**  
ケースのフタを閉じる際には、写真のようにロック部を押さえてしまうとうまく閉じません。

**5**  
写真のようにケースを持ってフタを閉じてから、ロックをすることでスッキリ閉じることができます。下駄箱に靴と並べて収納することもできます。



生産物賠償責任保険加入済

付属アダプター ゴムボール用・レジャー用

**安心確実ロック**  
ダブルフレームロックを採用。従来の片側ロックで発生した歪みをなくしスムーズな作動を約束!!

**滑り止めゴム**  
床面のキズ付きを防止!!

**マルチヘッド**  
米式・英式・仏式バルブ対応! マルチヘッドでワンタッチ取付!!

**見やすい圧力ゲージ**  
kPa & psi 表示。クロスバイクに最適 目安に便利な置き針付き。

最高使用圧力: 800kPa(120psi)

エマーソン サイクロ フットポンピング  
**踏みマツチョXクロス** 収納に便利なプラケース入り

製品の安全を保障するSGマークは多くの方に認識されており、製品選択の基準になっています。サイクロ フットポンプS 踏みマツチョクロスは、型式登録されたSGマーク付きフットポンプです。SGマーク制度は、空気ポンプの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。




※改良のため、予告なく仕様及び外観の変更をすることがあります。


# 使用方法

安全にご使用いただくために、表面の取扱説明書を必ずお読み下さい。


## 準備編

- 

1 平らで固い地面で、体をしっかり支えられる壁や柱のある場所に自転車を置きます。
- 

2 ポンプをケースから取り出したら、はじめにこの止め金具を…→
- 


3 ①ペダルを押さえながら ②止め金具を外す


ペダルを押さえながら外したら、はじめにこの止め金具を…→
- 

4 止め金具 すべり止め


外した止め金具がステップのすべり止め側にあることを必ず確認して下さい。


## 自転車編①【英式バルブ】

- 

1 ホース先端部分の黒いレバーを起こしてフリーの状態にします。
- 

2 ゆるんでいたら締め直す

自転車のバルブ（空気注入口）に付いたゴムキャップを外します。その際、バルブのネジがゆるんでいたら締め直す。
- 

3 自転車のバルブ（空気注入口）に差し込みます。
- 

4 口金のレバーを倒し、空気を注入します。差し込み部がキチンと装着されていないと空気は入りません。

## 自転車編②【仏式バルブ】

- 

1 ホース先端部分の黒いレバーを起こしてフリーの状態にします。
- 

2 自転車のバルブ（空気注入口）に付いたゴムキャップを外します。
- 

3 仏式バルブの場合、ロックネジを緩めて頭を押して空気が出ることを確認します。
- 

4 自転車のバルブ（空気注入口）に差し込みます。
- 

5 口金のレバーを倒し、空気を注入します。差し込み部がキチンと装着されていないと空気は入りません。 ※ポンプのメーターが動いた事を確認して下さい。

## バイク・クルマ編【米式バルブ】

- 

1 通常、バイクやクルマのバルブは、写真のような米式バルブです。まずはキャップを外します。
- 

2 自動車のバルブ（空気注入口）に差し込みます。
- 

3 差し込むと、タイヤから空気がシュッと音をたてて抜けますがレバーを倒すと止まります。充填後はレバーを起こし素早く抜いて下さい。 ※ポンプのメーターが動いた事を確認して下さい。

## ボール・浮き輪編


- 

1 ホース先端部分の黒いレバーを起こしてフリーの状態にします。
- 


2 ボール用アダプターを差し込みます。
- 

3 レバーを倒してからボールの注入口に差し込みます。ボール用アダプターは大変折れやすいため、作業の際は、無理なチカラが加わらないよう注意して下さい。


## 正しい空気圧 どこで知る？

**自転車** 


タイヤ側面に記載。

**クルマ** 

運転席側ドアの開閉部に貼られたステッカーに記載。 ※念のため、取扱説明書も確認して下さい。

**バイク** 

主に車体に貼られたステッカーに記載。 ※念のため、取扱説明書も確認して下さい。

**ボール** 

注入口に記載されている場合もありますが、表示がない場合は、取扱説明書を確認して下さい。

## 長くお使い頂くために…

- ◇本製品のケースは、フットポンプ本体を入れたまま落としてしまうと割れてしまいます。取扱いには十分ご注意下さい。
- ◇空気を充填する際、本体からキコキコときしむ音がある場合は、シリンダーの中心に入り切る芯棒に機械油やグリスを注油して下さい。
- ◇平らでない場所や、固くない地面でのご使用は、製品の故障ばかりでなくケガの原因にもなりますのでご注意下さい。